



教員の研究・授業の様子を紹介します



研究成果を職場に持ち帰って、実践の場で活用を

入札契約や PPP(公民連携)、公共施設マネジメント！

准教授 斉藤 徹史

私は、行政法学・財政法学を専門とし、なかでも入札契約や PPP(公民連携)、公共施設マネジメントに対して行政法の観点から研究を行っています。これらは、今日の行政課題として極めて重要であり、全国的に自治体実務の関心が高いテーマでもあります。すでに数名の自治体からの派遣職員を受け入れていますが、私としては大学院生に対し、①本学大学院での研究成果を職場に持ち帰って、実践の場で活用してもらいたい、②本学大学院に在籍したことの果実を、各自の公務員キャリアの中に残してほしいとの考えのもと、指導に取り組んでいます。そのため、院生には、学外の学会や研究会で研究成果を積極的に発表することを求めています。こうした経験を積むなかで、1つの領域において、派遣元自治体にとどまらず、全国で通用するような真に実力のある公務員となることを願っています。実際、これまでに指導した院生は、修了後に大きく羽ばたき、派遣元自治体の将来を担う人材となりました。演習では、行政法理論と行政実務をつなぎ、院生が関心をもちやすい内容となるように心がけています。他方、院生から行政実務の詳細を教えてもらうことが多々あり、私にとっても大きな学びの機会です。

私自身の大学院時代を振り返ると、指導教員から、研究においては、制度や法律が「なぜそうなっているのか」と疑問をもつことの重要性、すなわち、常に「なぜか」と考え続ける必要性を教えていただいたことが思い出されます。自治体での一般的な研修が、技術やスキルを身につけて執務能力を直ちに向上させるものであるとするならば、大学院での学びは、制度や社会現象そのものに対し、より深く、本質に迫ることで、その解決方法を考察するものです。多くの自治体職員が、本学大学院で「考える」経験を通して、それぞれの仕事で活躍してほしいと思います。

(『公益大ニュース』第6号/2021年7月発行より)

2021年秋冬の公開講座・特別講座

- 9月～1月 月曜夜 公開講座「公益学総論」 現代社会における公益のあり方を考えましょう！
 - 11月～12月 月曜夜 特別講座 SDGs関連
 - 11月 大学院オープンキャンパス、研究計画書の書き方セミナー
 - 12月初旬 特別講座 スクールソーシャルワーク関連
- 詳細が決定次第ホームページに情報を掲載します



授業見学も受け付けています。お気軽にご相談ください！

東北公益文科大学 大学院事務室 (鶴岡キャンパス)
住所 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14番1号
電話 0235-29-0555 メール gs@koeki-u.ac.jp
ホームページ <https://www.koeki-u.ac.jp/academics/gs/>



ホームページも
ぜひチェック
ください！